

目的を明確にした家庭学習の指導

提出状況やページ数
だけにとらわれてい
ませんか？

何のために宿題や自主学習に取り組むのか、それを通してどのような力が付くのか等、目的を明確にして児童生徒に伝えることが大切です。また、その目的を達成するのに適した内容や方法についても検討する必要があります。児童生徒が目的を達成した際は、しっかりとほめて自信を持たせましょう。

実践例 小学校「目的に応じた漢字練習」

漢字練習にも様々な目的があり、それに応じて学習方法を変えていくことが必要です。例えば、同じ「詞」という漢字の学習について、目的に応じて以下のように指導することが大切です。

正しい形や筆順の定着を目的とした漢字練習

とめ・はらい・はねや点画の形・長さ等を丁寧に書き写したり、正しい筆順で書いたりすることを意識するよう指導します。

様々な読みや用途を広げることを目的とした漢字練習

様々な熟語を練習することで用途を広げることができます。特に、同じ音訓を持つ漢字や、形が似ている漢字は間違えやすいので、意識的に注釈を加えさせる等、工夫して指導します。

短文の中で使うことを目的とした漢字練習

児童生徒が目的を意識して家庭学習に向かえるように、選択制にしたり、言葉かけをしたりする必要があります。

熟語だけではなく、短文の中でどのように使われるかを意識して課題を設定します。練習できる熟語の数は限られますが、既習の漢字と共にチェックすることができます。